

佐田町のお宝 風穴マップ

島根県技術士会 研究部会 坂田,石崎,吾郷,嘉藤,長嶺,原,安井

歴史の流れのなかで埋もれていった佐田町のお宝である風穴の”掘り起し”のため H26.8 に佐田町のみなさんにご協力頂き、アンケート調査を実施しました。その結果、12 箇所の冷氣ポイントの情報が得られました。これらのポイントについて、佐田中学校の生徒さんや情報提供者の方とともに、現地での確認調査や聞き取り調査をしました。調査を行った風穴の位置やかつて利用状況、聞き取り結果などをまとめ佐田町風穴マップに整理しています。

①八雲風穴



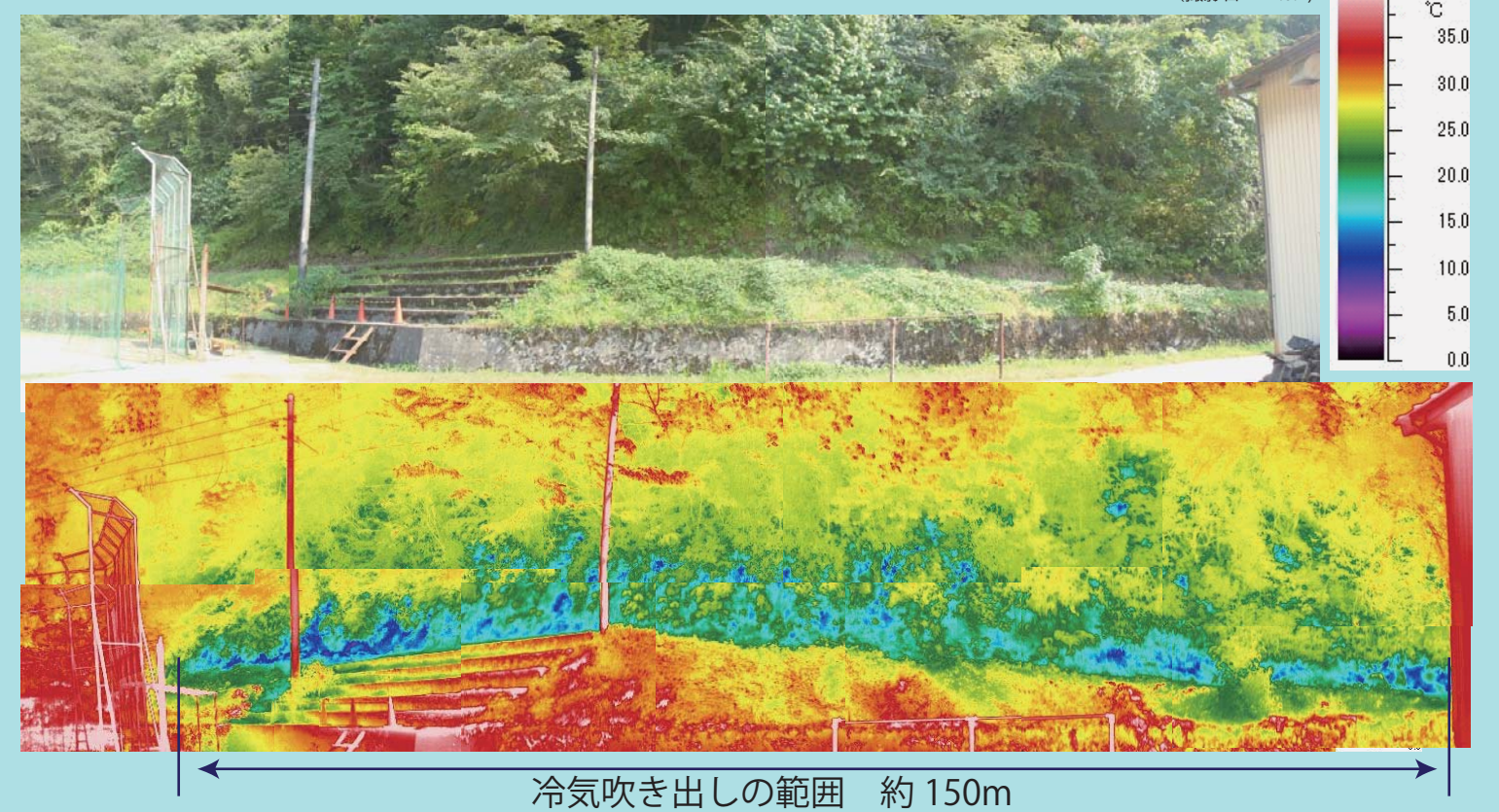
④グラウンド裏



⑤民家裏 A



★グラウンド裏の熱赤外線画像



②大呂道路脇



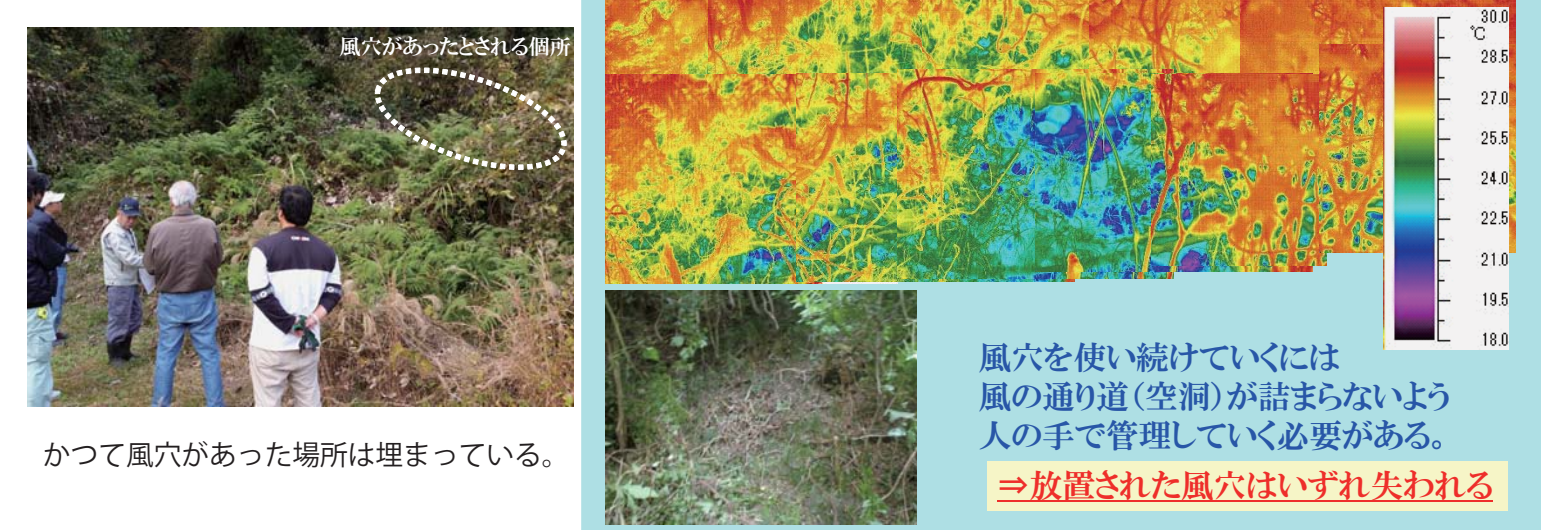
⑥民家裏 B



⑦旧窪田家畜市場横



★旧窪田家畜市場の熱赤外線画像



③宮内掛合線傍



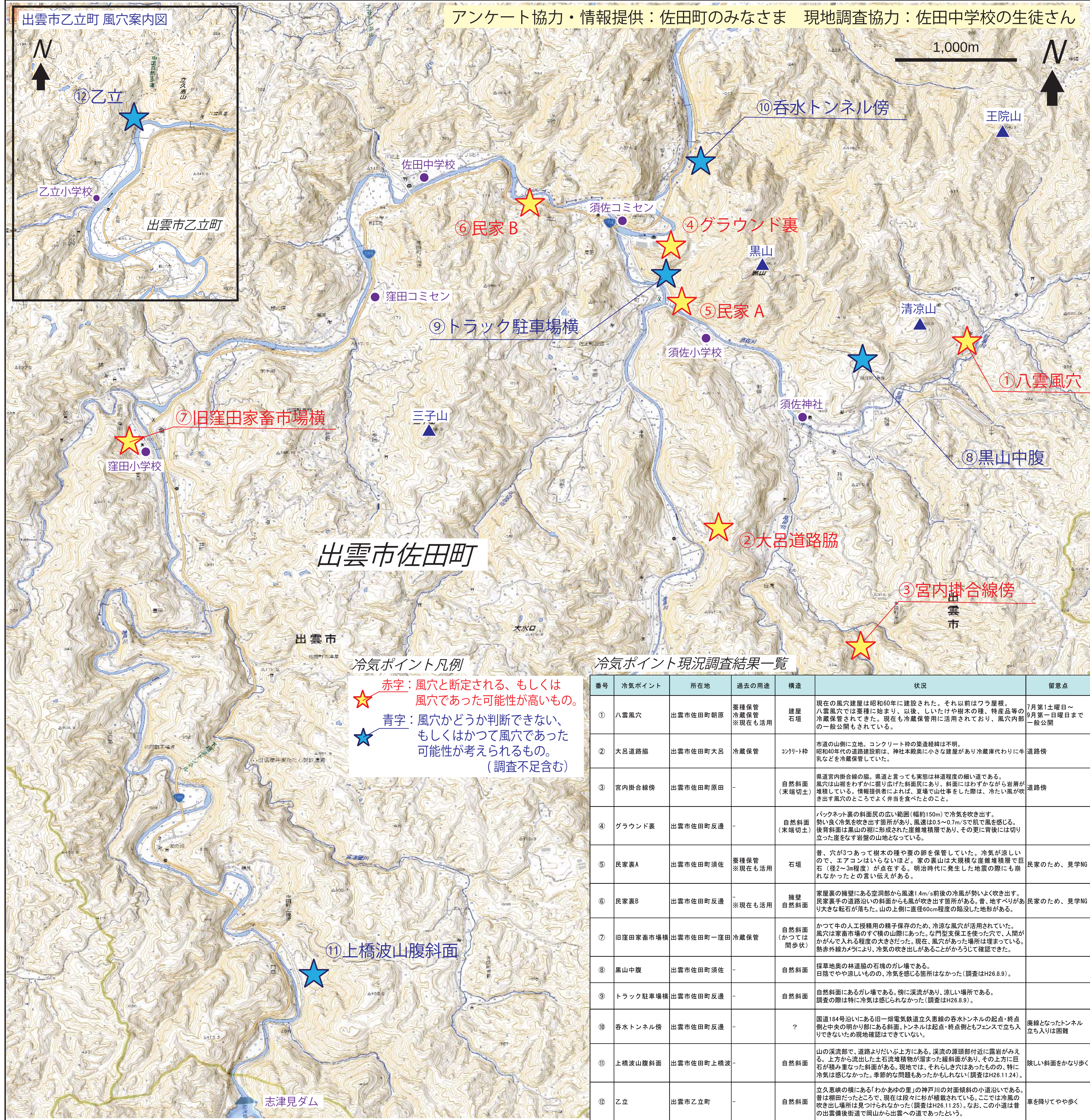
⑧黒山中腹



⑨トラック駐車場横



かつて風穴があった場所は埋まっている。



アンケート協力・情報提供：佐田町のみなさま 現地調査協力：佐田中学校の生徒さん

冷氣ポイント凡例
赤字：風穴と断定される、もしくは風穴であった可能性が高いもの。
青字：風穴かどうか判断できない、もしくはかつて風穴であった可能性が考えられるもの。(調査不足含む)

冷氣ポイント現況調査結果一覧

番号	冷氣ポイント	所在地	過去の用途	構造	状況	留意点
①	八雲風穴	出雲市佐田町朝原	養種保管 冷蔵保管 ※現在も活用	建屋 石垣	現在の風穴建屋は昭和60年に建設された。それ以前はワラ屋根。八雲風穴では養種に始まり、以後、しいたけや樹木の種、特産品等の冷蔵保管されてきた。現在も冷蔵保管用に活用されており、風穴内部の一般公開もされている。	7月第1土曜日～9月第一日曜日まで一般公開
②	大呂道路脇	出雲市佐田町大呂	冷蔵保管	コンクリート枠	市道の山側に立地。コンクリート枠の築造経緯は不明。昭和40年代の道路建設前は、神社本殿奥に小さな建屋があり冷蔵庫代わりに牛乳などを冷蔵保管していた。	道路脇
③	宮内掛合線傍	出雲市佐田町原田	-	自然斜面 (末端切土)	県道宮内掛合線の脇。県道と言っても実態は林道程度の細い道である。風穴は山裾をわずかに掘り広げた斜面にあり、斜面にはわずかながら岩層が堆積している。情報提供者によれば、夏場や山仕事をした際は、冷たい風が吹き出す風穴のところでよく弁当を食べたとのこと。	道路脇
④	グラウンド裏	出雲市佐田町反邊	-	自然斜面 (末端切土)	バックネット裏の斜面原の広い範囲(幅約150m)で冷氣を吹き出す。勢いよく冷氣を吹き出す箇所があり、風速は0.5~0.7m/sで肌で風を感じる。後背斜面は黒山の裾に形成された崖壁堆積層であり、その更に背後には切り立った崖をなす岩壁の山地となっている。	
⑤	民家裏A	出雲市佐田町須佐	養種保管 ※現在も活用	石垣	昔、穴が3つあって樹木の種や卵の保管をしていた。冷氣が涼しいので、エアコンはいらない。家の裏山は大規模な崖壁堆積層で巨石(径2~3m程度)が点在する。明治時代に発生した地震の際にも崩れなかったとの言い伝えがある。	民家のため、見学NG
⑥	民家裏B	出雲市佐田町反邊	※現在も活用	構壁 自然斜面	家裏の構壁にある空洞部から風速14m/s前後の冷氣が勢いよく吹き出す。民家裏の道路沿いの斜面からも風が吹き出す箇所がある。昔、土すべりがあり大きな転石が落ちた。山の側に直径60cm程度の陥没した地形がある。	民家のため、見学NG
⑦	旧窪田家畜市場横	出雲市佐田町一窪田	冷蔵保管	自然斜面 (かつては間歩状)	かつての人工授精用の精子保存のため、冷涼な風穴が活用されていた。風穴は家畜市場のすぐ横の山腹にあった。な門型支保工を使った穴で、人間がかかて入れる程度の大きさだった。現在、風穴があった場所は埋まっている。熱赤外線カメラにより、冷氣の吹き出しがあることがうかがえて確認できた。	
⑧	黒山中腹	出雲市佐田町須佐	-	自然斜面	採草地の林道の脇の石塊のガレ場である。日陰でやや涼しいものの、冷氣を感じる箇所はなかった(調査はH26.8.9)。	
⑨	トラック駐車場横	出雲市佐田町反邊	-	自然斜面	自然斜面にあるガレ場である。溪に渓流があり、涼しい場所である。調査の際は特に冷氣は感じられなかった(調査はH26.8.9)。	
⑩	呑水トンネル傍	出雲市佐田町反邊	-	?	国道184号沿いにある旧一畑電気鉄道立久恵線の呑水トンネルの起点・終点側と中央の明かり部にある斜面。トンネルは起点・終点側ともフェンスで立ち入りできないため現地確認はできていない。	廃線となったトンネル立ち入りは困難
⑪	上橋波山腹斜面	出雲市佐田町上橋波	-	自然斜面	山の溪流部で、道路よりだいぶ上にある。渓流の源頭部付近に露岩がみえる。上方から流出した土石堆積物が溜まった緩斜面があり、その上に巨石が積み重なった斜面がある。現地では、それらしき穴はあったものの、特に冷氣は感じなかった。季節的な問題もあったかもしれない(調査はH26.11.24)。	険しい斜面をかなり歩く
⑫	乙立	出雲市乙立町	-	自然斜面	立久恵線の横にある「わかあゆの里」の神戸川の対面傾斜の小道沿いである。昔は棚田だったところで、現在は段々に杉が植栽されている。ここでは冷風の吹き出し場所は見つけられなかった(調査はH26.11.25)。なお、この小道は昔の出雲備後街道で岡山から出雲への道であったという。	車を降りてやや歩く